



電子機械設計・製作II

後期19回 システム統合4

システム統合レビュー

牛丸 真司

青木悠祐

小谷 進

大沼 巧

香川真人

後期スケジュール



電子機械設計・製作 II (3単位:週2回6コマ)								
1	9/27	P.3	基本設計・試作	16	12/5	P.6	単体・機能試験報告書UP システム統合	
2	9/30			17	12/9			
3	10/3			18	12/12			
4	10/6			19	12/19	P.7	システム統合レビュー システム試験・改良	
5	10/14	レビュー	安全講習	20	12/23			
6	10/17	P.4	詳細設計・試作	21	1/6			
7	10/21			22	1/13			
8	10/24			レビュー	23	1/16	P.8	システム試験報告書UP 社会実装実験
9	11/4			24	1/20			
10	11/7	25	1/23					
11	11/11	P.5	実装(パート開発) 部品製作・回路製作 ・プログラミング	26	1/27		発表会準備	
12	11/14			27	1/28		MIRS発表会	
13	11/18			28	1/30	P.9	開発完了報告	
14	11/21			29	2/6			
15	12/2			30	2/10			



システム統合レビュー（1）再掲

- 目的
 - システム統合の進捗状況を評価し、今後の開発方針（最終的にデモ機に実装する機能等）を決定する。
- 実施日
 - 2022年12月19日（月）15:00-16:30
- 実施場所
 - クリエイティブラボ（大型ディスプレイ前）



システム統合レビュー（２）

再掲

- 実施方法
 - システム統合の進捗状況を記したプレゼン資料を用意し、その説明を行う。
 - 実現した機能は、可能な限りデモ機で実演すること。
 - 準備が出来た班から実施する。（各班15分程度）
- レビュー参加者
 - チームメンバー（PM, TLは必須）
 - チームレビューワ&主担当（牛丸）

進捗報告資料 (1)

再掲



- 開発項目毎に、優先度、進捗状況を記すこと
- 開発項目（要素・機能）はシステム提案書に記載されている項目の粒度で示すこと。
- 優先度がシステム提案書から変更となる場合は、その理由を備考欄に示すこと。

優先度の定義

- A：デモ機で実現する項目
- B：製品として必須の項目（Aに加えて）
- C：製品の付加価値を高める機能

進捗報告資料 (2)

再掲



- 形式は特に問わないが、プレゼン資料として用意すること。
- 以下のような表にまとめてよい。

開発項目	優先度	進捗状況	備考



授業のコロナ対応

- 年内のMIRSは今日を最後の授業とする。(1月23日(金)の文は、MIRS発表会で代替する。
- システム統合レビューは、必要なメンバーのみ参加する。(PMかTMのどちらかは参加して下さい)
- 体調に少しでも異変・不安を感じる人は、チームに連絡を入れた上で早めに切り上げてよい。
- チームミーティング等で最新の進捗状況を共有し、各パート・各自の役割(いつまでに何をすべきか)を明確にして進めること。
 - ガントチャートなどチームのプライベートチャットの活用

その他

- 1月28日のMIRS発表会の保護者への案内文を、後期中間試験成績と一緒に保護者に送付。
(今週中に発送)